

第45回陸奥新報社賞特集

岩木健診の健康ビッグデータを求め、大手企業などが次々に弘前大COIネクストに参画する。8月現在、一つの共同研究所、24の共同研究講座が設置され、多くの企業研究員が同大に常駐しながら研究、解析を進めている。

検査を、岩木健診で実施。疾病の予兆・予防法確立を目指し、収集したデータを解析するなどして研究成果を新しいサービス、新製品開発につなげている。

弘前市や県内企業などと連携し、健康プログラム開発に取り組み企業もあり、弘前から社会貢献を果たす動きを加速させている。

参画企業は開発した機器などを使った独自



スマートフォンで写真を撮影して内臓脂肪レベルを測定するサービスを開発

▽花王(本社東京都)共同研究 改修工効果あるスマート和食弁当 講座「アクティブライフ」を推進 講義「研究講座」(2017年設置)



花王が提案、監修したスマート和食弁当

参画企業が独自検査や新製品



ベジチェックを弘前市の小中学校で貸し出し、子どもたちに野菜摂取を促す(2024年6月)

▽カゴメ(本社名古屋)共同研究講座「野菜生命科学講座」(2018年設置) 野菜摂取量を推定する機器「ベジチェック」を開発。LED(発光ダイオード)を搭載したセンサーに手のひらを当て、皮膚からの反射光を検出して、緑黄色野菜などに多く含まれる天然色素カロテノイドの量を測定するもので、岩木健診などでデータを集めている。

データ解析により、測定値と健康の関連性を明らかにし、企業や自治体への提供を開始。QOL健診でも活用されている。 包括連携協定を結ぶ弘前市では市役所や商業施設に設置するほか、小中学校への貸し出しなどを行い、野菜不足を認識させ、積極的な摂取を促している。

短命県返上を目指し



「『おさまなな野』の核となる岩木健診を立ち上げた弘前大の中路重之特別顧問は、今回の受賞に「地域の皆さんに感謝してあげたい」と感謝の言葉を述べた。地域が元気になるためには、岩木健診が想像を超え、広がりをみせ、国内外が注目する多岐多岐の健康データを開発していく必要がある。

中路重之特別顧問

13年のCOI、22年のCOIネクストの探求で著しい功績を挙げ、行動変容で促された健康ビッグデータが注目された。企業や他大など次々に参画し、21年ベジチェックを原動力とした地方創生特別顧問は岩木健診で培ったノウハウを継承し、成・子どもを対象とした健康教育の実施、企業・生活者の健康増進に貢献している。

「行動変容の促進続ける」

「一いつ取り組みを展開して、一密学目的の連携で健康ビッグデータの可能性が広がった。でも、まだ道半ば。健康寿命延伸に向け、住民の行動変容の促進を続けることが、かかっている」と意気込む。

岩木健診を原動力に健康教育などに力を入れる中路特別顧問

岩木健診国内外が注目

の協力を得て、一般の内科健診に加え、健康に影響を及ぼす生活習慣を採るための体力測定を実施



岩木健診で運動能力を測定するマツダのブース

お祝いの言葉. 弘前市長 桜田 宏. 青森県知事 宮下 宗一郎. 弘前大健康未来イノベーション研究機構の第4回健康新報社賞を心よりお祝い申し上げます。この度の受賞は、大規模合同で市民健診に取り組む増進プロジェクトの取り組みが評価されたことと、お祝いの言葉をいたします。

取り組みを評価. 弘前大健康未来イノベーション研究機構の第4回健康新報社賞を心よりお祝い申し上げます。この度の受賞は、大規模合同で市民健診に取り組む増進プロジェクトの取り組みが評価されたことと、お祝いの言葉をいたします。

産学官民が連携. 弘前大健康未来イノベーション研究機構の第4回健康新報社賞を心よりお祝い申し上げます。この度の受賞は、大規模合同で市民健診に取り組む増進プロジェクトの取り組みが評価されたことと、お祝いの言葉をいたします。

